

東郷町 認知症に関する 団体・支援者ヒアリングシート

調査ご協力のお願い

各団体等の皆様には、日頃から町政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

本町では、3年に一度「東郷町高齢者福祉計画」を策定し、高齢者福祉や介護保険の事業運営に取り組んでおります。令和6年1月に施行された「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」においては、「認知症施策推進計画」の策定が努力義務とされています。これを受け、令和9年度からの「第10期東郷町高齢者福祉計画」に「東郷町認知症施策推進計画」を包含し、策定することとなりました。

計画を策定するに当たり、認知症施策や本人等の参画に関する皆様のお考えやご意見を計画に活かしたいと考えますので、お忙しいところ誠に恐縮ですが、下記のとおりヒアリングシート調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和7年12月

東郷町長 石橋直季

ご回答にあたってのお願い

- ご回答は、あてはまる選択肢の番号を選び、その番号に○をつけてください。また、記述を必要とする箇所は、ご記入ください。
- 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、矢印やことわり書きをよくお読みください。
- 本調査は、●月●日(●)までにご回答ください。
- 本調査はインターネットでご回答いただくことも可能です。
QRコードからWebサイトにアクセスし、ご回答ください。
(https://.....)
- この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

<回答サイトのQRコード>



<お問い合わせ先>

東郷町役場 福祉子ども部 高齢者支援課 電話 (0561) 56-0735 (直通)

団体や所属名			
代表者名		調査票記入者	
主な支援対象者 (複数選択可)	1. 認知症の本人 2. 認知症の人の家族 3. 高齢者一般 4. 地域住民全般 5. その他 ()		

問3 認知症の人のご家族からどんな相談や要望を受けることが多いですか。(複数選択可)

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 1. 介護方法や対応の仕方 | 2. 本人の感情や行動への接し方 |
| 3. 介護負担やストレス | 4. 利用できるサービスや制度について |
| 5. 経済的な不安 | 6. 介護と仕事・家庭生活の両立 |
| 7. 将来の生活や入所の見通し | 8. 家族自身の孤立感や気持ちの支え |
| 9. その他 (|) |

問3-1 問3で回答された項目について具体的な内容を教えて下さい。(自由記述)

選択肢番号	具体的な内容

活動における課題や必要な支援

※あなたのお考えをご記入ください。

問4 あなた(支援者)自身が、支援活動を行う上で感じている課題や困りごとは何ですか。(自由記述)

--

問5 支援活動をより円滑に行うために、必要なサポート等があれば教えてください。(自由記述)

例：コミュニケーション方法や関わり方の研修、相談・ケース対応の実務研修、精神的・身体的負担軽減のための相談窓口やカウンセリング、他の支援者との情報交換・ネットワークづくり など
--

認知症支援での課題や必要な取組について

※あなたのお考えをご記入ください。

問6 現在の認知症支援で課題と感じる点を教えてください。(自由記述)

例：相談体制の不足、医療と介護の連携不足、地域での理解不足など

問7 町として重点的に取り組むべき認知症施策は何だと思えますか。(複数選択可)

- | | |
|-------------------|------------------------|
| 1. 本人への生活支援 | 2. 家族への相談・レスパイト支援 |
| 3. 医療・介護サービスの連携強化 | 4. 地域での理解促進・見守りの仕組みづくり |
| 5. 情報提供・普及啓発 | 6. 相談支援体制の充実 |
| 7. その他 () | |

問7-1 問7で回答された項目について具体的にどんなことに取り組むべきか教えて下さい。
(自由記述)

選択肢番号	具体的な内容

問8 認知症の人が地域で安心して暮らすために、地域の理解や協力体制についてどのように感じますか。(自由記述)

例：地域住民、自治会、商店、交通機関などの理解や対応など

本人の参画等について

※あなたのお考えをご記入ください。

◆本人参画とは

本人が認知症経験者として、よりよい暮らしや地域を共につくっていくために、体験や思い、望みや意見等を表し、自ら関わること。集められて、受け身的に参加することとは、区別して用います。

◆本人参画の目的

「認知症になってからも、希望と尊厳を持って暮らせる社会」を本人と共につくることです。そのためには、認知症をもちながら暮らす本人に「本人にしか分からないことを聴く」ことです。「本人の声を聴く」ことがすべての出発点です。

◆本人参画の意義

本人たちが感じていること、求めていること、大切にしたいことを関係者が共有し、それを守り、実現するために何をすべきかを一緒に考えることで、これまで気づかなかった様々な観点から暮らしやすいまちづくりにつなげていくことができます。

認知症施策を本人参画でともに進めるための手引き（一般社団法人日本認知症本人ワーキンググループ）より

問9 町の施策等に認知症の本人やその家族の意見が反映されたり、参加・参画が進んでいると思いますか。（1つ選択）

1. 十分に進んでいると思う
2. ある程度進んでいると思う
3. あまり進んでいないと思う
4. まったく進んでいないと思う
5. 分からない

問9-1 そのように感じる理由を教えてください。（あてはまるものすべてに○）

問10 認知症の本人がまちの取組や活動に参画しやすくなるためには、どのような工夫や配慮が必要だと思いますか。（自由記述）

例：気軽に参加できる雰囲気づくり、支援者による付き添いやサポート、分かりやすい説明や資料、意見を出しやすい少人数の場 など

問11 今後、認知症の本人や家族が地域の取組や町の施策に参加しやすくなるためには、どのような取組や支援があったら良いと思いますか。(自由記述)

例：本人・家族の交流の場、情報発信の方法、地域の理解を広げる取組 など

その他自由意見

※あなたのお考えをご記入ください。

問12 認知症施策を進めるうえで意見・要望があればご記入ください。(自由記述)

ご回答ありがとうございました。